

関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める

**要 望 書**

令和5年 12月

泉州市・町関西国際空港推進協議会

## 関西国際空港の国際ハブ化の早期実現等を求める要望書

関西国際空港の発展と、泉州市・町関西国際空港推進協議会の諸活動の推進に温かいご理解と格段のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

これまで、地元泉州9市4町におきましては、「地域と共存共栄する空港づくり」という関西国際空港建設の基本理念のもと、来年開港30周年を迎える関西国際空港の発展とともに、空港周辺の良い環境づくりに取組、臨空都市圏にふさわしい、泉州地域の発展に向けたまちづくりを進めてまいりました。

関西国際空港においては、関西エアポート株式会社による関西3空港の一体運営等の効率的かつ戦略的運営により、旅客数は好調な伸び率を記録し、関西経済全体の活性化や成長の牽引役として、更なる期待をされているところであります。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大により、令和2年2月以降は、国際線の利用者がコロナ禍前に比べ99%減になる等、航空旅客数は大きく減少し、約3年もの間、非常に厳しい状況を強いられてきました。

ようやく令和4年10月の水際対策の緩和等を経て、関西国際空港は、回復方向へと歩み出し、令和5年9月時点では、国際線旅客は令和元年度同時期と比較して約80%まで回復しました。

このような状況の中、関西国際空港では、「大阪・関西万博」等の国際的イベントの開催やIR開業等に向け、旅客ターミナルの大規模リノベーション工事をはじめ、インバウンドの本格的な受入と今後のさらなる需要拡大を見据えた、ターミナルキャパシティの創出により、空港の受入環境整備が着実に進められております。

併せて、令和4年9月に開催された関西3空港懇談会では、成長目標として、2030年代前半を目途に年間発着回数30万回の実現をめざすことが合意され、令和5年6月の同懇談会において、飛行経路の見直し案が国から示されたことから、今後、環境に配慮しつつ、関西国際空港の成長軌道への復帰に向けた取組を進めることが急務となっております。

関西国際空港が、首都圏空港と並び、観光立国をめざす我が国の国際拠点空港として、早期復活を果たし、また、アジアのゲートウェイとして国際競争力を備えた24時間国際空港として、その能力・機能を十分発揮できるよう、成田・羽田空港と同等の国の支援をお願いいたしたく、次のとおり要望します。

令和5年12月

泉州市・町関西国際空港推進協議会  
会長 水野謙二

# 1. 航空需要の回復について

新型コロナウイルス感染症に伴う水際対策の撤廃により、アジアのインバウンドを中心に航空需要は回復傾向にあり、中国からの来訪者やアウトバウンドは道半ばであるものの、更なる回復が期待されている。

引き続き、インバウンド回復に向けた訪日プロモーションの実施や、戻りが遅いアウトバウンドの回復に向けたパスポート取得費用補助や海外旅行者へのプレゼントキャンペーン等に取り組まれない。

# 2. 空港機能の維持・充実及びインバウンド受入体制の更なる充実について

新型コロナウイルス感染症の影響が長期間に及んだ結果、関西国際空港においても、特に国際線が厳しい運営状況となる中、国際空港の重要機能を支える空港関係事業者の経営は打撃を受け、人手不足に直面している。

今後の本格的な需要回復期においても、旅客の円滑かつ快適な受入れが可能となるよう、グランドハンドリング、機内食製造、交通アクセス等、コロナ禍により事業縮小を余儀なくされた空港関連事業者を支援されたい。

また、空港内の旅客手続きの効率化に向け、スマートレーン等の充実を図られたい。

加えて、円滑な出入国審査の実現に向け、入国審査官及び出入国手続きの誘導に従事している補助要員の増員等、適切に措置されたい。

今後の関西国際空港の更なる機能強化をめざし、関係省庁と連携のうえ、必要な航空イノベーション推進関連予算の確保等、所要の措置を講じられたい。

# 3. 安全・安心の確保及び脱炭素化の推進について

航空機の安全な運航を確保するため、航空保安施設の更新や人材確保が困難となりつつある保安業務等に関し、先進的な保安検査機器の導入及び先端技術の活用による空港警備体制の強化等が着実に実施されるよう、引き続き必要な措置や支援等を講じられたい。

併せて、安全対策として、荒天時の周辺海域における航行制限が確実に運用

されるよう、徹底されたい。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、関西国際空港では、令和5年以内に「空港脱炭素化推進計画」を作成予定である。太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入や水素を動力とする航空機の運航、持続可能な航空燃料（SAF）の商用化の実現、近隣市町を含めた二酸化炭素の吸収源となる藻場の創出等、関西国際空港での取組に対して必要な支援を講じられたい。

## 4. 航空ネットワークの充実について

関西国際空港が、関西への誘客促進と我が国全体の航空需要の拡大に資するよう、コロナ前に就航があった航空路線の一日も早い復便、未就航地並びに未就航エアラインの誘致、その中でも特に欧米等中長距離直行便の拡充等による航空ネットワークの充実や、羽田線をはじめとする国内主要路線の拡充等による際内乗継機能の強化に、国としても十分に配慮されたい。

## 5. 観光振興について

泉州9市4町及び関西エアポート株式会社等では、インバウンド観光の拡大を図るべく、世界遺産である百舌鳥・古市古墳群をはじめとした地域観光資源の磨き上げや深日港・州本港間の航路復活等に取り組んできた。令和4年度には、本協議会にワーキングを設置し、若手職員が集い、インバウンドが求める需要に応える事業や地域が創出するあらたな事業の検討をした。

また、関西国際空港との近接性を活かした観光振興を図るために設立した一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローが令和3年3月に地域連携型DMOとして登録され、「大阪・関西万博」の開催を視野に、国内外に向け泉州地域の魅力を発信できるよう取り組んでいるところである。

今後とも関西国際空港と泉州地域の共存共栄のため、泉州地域が取り組む観光振興策に対する財政的支援、更に、南泉州地域及び和歌山県紀北地域の連携による観光誘客の強化に対して、国としてインバウンド観光客へのPRや観光地域づくり、多言語化、多様な交通移動手段を一元的に予約・決済できるMaaS等の観光インフラの整備への一層の支援を講じられたい。

## 6. 関西国際空港へのアクセス強化について

関西国際空港と大阪都心部とのアクセスの利便性や速達性の向上に向け、空港連絡橋の通行料金の恒久的低減化や、高速アクセス鉄道の整備を国主導によ

り早期に具体化されるとともに、なにわ筋線の早期整備に向け、所要の措置を講じられたい。

また、空港機能の一層の充実及び防災機能強化の観点から、空港連絡橋の代替アクセスとしても有効である空港連絡南ルート of 早期具体化を図るとともに、淀川左岸線 2 期・延伸部及び大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線等の高速道路ミッシングリンクの解消等、幹線道路ネットワークの早期形成、並びに、第二阪和国道の全線四車線以上の拡幅、京奈和関空連絡道路等の整備を図るための財源確保に向け、積極的な取組を図られたい。

## 7. 関西国際空港全体構想の早期実現に向けての 2 期事業の完全供用について

関西国際空港計画時に地元市町に対し提示された 3 点セット（空港の全体計画・空港の環境アセス・周辺地域整備の考え方）を踏まえ、将来の需要動向等に迅速に対応できるよう 2 期事業の完全供用を図られたい。

また、地元市町に対し約した事項については、責任をもって確実に講じられたい。

## 8. 地元市町への必要な情報提供と国としての適切な関与について

平成 28 年 4 月から関西エアポート株式会社による運営が開始されたが、地元市町に対して必要な情報提供を今後も行うとともに、円滑・良好な関係が維持されるよう、国としても引き続き適切な関与に努められたい。

これまでの経緯を踏まえ、新関西国際空港株式会社によるモニタリングが適宜適切に行われるよう、国におかれても対応されたい。特に、「環境面の特別の配慮」をはじめ、環境監視、環境保全の取組、飛行経路に係る協議及び飛行経路の遵守について、地元市町への説明責任が果たされるとともに、航空当局として適切な関与に努められたい。

加えて、今年 6 月に示された飛行経路の見直し案について、現在、兵庫県、大阪府及び和歌山県の 3 府県による環境検証委員会において、客観的・科学的な検証が行われているところであるが、地域の合意形成が円滑に進むよう、地元市町へ丁寧な説明を行うとともに、国として、適切に関与されたい。

## 9. 関西3空港のあり方について

関西国際空港、大阪国際空港及び神戸空港の3空港のあり方については、国際拠点空港、世界の玄関口として役割を果たしてきた関西国際空港の復活がまず第1であり、更なる機能強化や2期事業の完全供用を図った上で、年間発着回数30万回の実現に取り組まれない。

一方、神戸空港は、平成24年に示された「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する基本方針」にある伊丹空港と同様、その補完空港としての役割を果たすものであり、関西国際空港の処理能力に余裕がある中での国際化は時期尚早である。関西エアポート株式会社に対し、そのような運営を徹底されたい。

また、長距離国内線の扱いについては、関西国際空港の際内乗継機能への影響に十分配慮したうえで、現行の運用を厳守されたい。

## 泉州市・町関西国際空港推進協議会

会 長	阪 南 市 長	水 野 謙 二
副会長	堺 市 長	永 藤 英 機
副会長	熊 取 町 長	藤 原 敏 司
監 査	和 泉 市 長	辻 宏 康
委 員	高 石 市 長	畑 中 政 昭
委 員	泉 大 津 市 長	南 出 賢 一
委 員	岸 和 田 市 長	永 野 耕 平
委 員	貝 塚 市 長	酒 井 了
委 員	泉 佐 野 市 長	千 代 松 大 耕
委 員	泉 南 市 長	山 本 優 真
委 員	忠 岡 町 長	杉 原 健 士
委 員	田 尻 町 長	栗 山 美 政
委 員	岬 町 長	田 代 堯